

2022年1月19日

第62回山形県冬季ロードレース大会 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル

■大会開催の前提条件

- 1、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等において課される行動制限下における大会開催については、2021年11月19日に発表されたワクチン・検査パッケージ制度の適用を踏まえて安全な大会運営の可否を検討する。
- 2、コースを通過する山形市と上山市に大会開催が周知され、同意を受けていること。
- 3、大会開催都市もしくは地域の医療のひっ迫状況を保健所に確認の上、新型コロナウイルス感染症について保健所へ事前に相談しておくこと。
- 4、全ての大会関係者の連絡先を把握し、健康状態の管理体制が整っていること。
- 5、大会主催者が「新型コロナウイルス感染症対策室」を設置し、濃厚接触者、感染疑い者が発生した場合の手順を定めて「感染症予防対策マニュアル」を作成していること。
- 6、日本陸上競技連盟の陸上競技活動開催のガイドライン「競技会開催について」に沿った大会運営を行うこと。
- 7、山形県の感染拡大注意・警戒基準がレベル3以上の場合は中止、レベル2以下であっても感染拡大状況の悪化が予想される場合は開催可否を再協議すること。

■新型コロナウイルス感染症予防の基本指針

1. 氏名、連絡先、健康状態を記入した体調管理チェックシートの提出、事後記録
2. 不織布マスクの持参、着用（二重マスクを推奨する）
3. 検温の実施
4. 手指の消毒
5. 3密（密閉、密集、密接）の回避

■新型コロナウイルス感染症対策室の設置

1. 大会における新型コロナウイルス感染症対策室を山形新聞社総務局に設置する。
2. 本大会における新型コロナウイルス感染症対策責任者を置く。

新型コロナウイルス感染症対策室	
感染症対策責任者	大会会長 寒河江 浩二 (山形新聞社代表取締役社長)
事務局	山形新聞社総務局 TEL : 023 (622) 5272

■感染症発生時の対応

1. 大会終了後の2週間（2月20日まで）を健康観察期間とし、選手本人、大会関係者がその間に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、原則として本人が対策室事務局=023 (622) 5272に速やかに報告する。
2. 感染者が出了場合、山形県(山形市内での発生は市)の保健衛生部局に連絡し、指示に従う。
3. 対策室は、山形市保健所と連携しながら、感染に関する公表内容を決定する。その際、感染者が不当な差別や偏見にさらされないよう個人情報の保護に留意する。

■大会当日の感染予防策

1. マスク着用の徹底

- ①大会に帯同する競技役員、スタッフ、山形県警察の職員、医師、警備員、競技役員、自主交通整理員、車両ドライバー、報道関係者、チームスタッフなど全ての大会関係者にマスクの常時着用を義務付ける。
- ②競技者は競技中以外のマスク着用を義務付ける。着用していない競技者には注意を促す。
- ③競技者と接触する受付等のスタッフはフェイスシールドや手袋を着用する。

2. フィジカルディスタンスの確保

- ①競技以外の場では、可能な限り他人との距離を確保し、必要以上の会話は避ける。
- ②書類の受け渡し等対面でやり取りが必要な場合は密集・密接に留意する。

3. 手指の消毒場所の確保

スタート、フィニッシュでの競技者の待機所やスタッフが滞留する箇所には可能な限り消毒液を用意する。

4. ごみの処理

飲み残しの飲料、使用後のティッシュ等のごみは自己の責任で処理する。原則、持ち帰りとする。

5. その他

各待機所で使用したいすや机はこまめに消毒する。

■競技者の対応

1. 体調管理チェックシートの管理・提出

- ①競技者は大会2週間前（1月23日）から体調管理と検温を実施し、主催者が定めるチェックシートに記入し大会当日に主催者に提出する。
- ②チェックシートを提出しない競技者の出場は認めない。

2. 体調異常者が出了した場合の対応

- ①競技者は大会当日の朝に検温を行う。発熱等の異常があった場合は、大会救護スタッフの医師に相談する。
- ②競技中、体調に異変を訴える競技者が出了した場合、その場で検温し、大会救護スタッフの医師に相談する。

3. 競技中の注意事項

- ①スタートエリアにおいてはマスク着用の徹底と会話をしない注意喚起を徹底すること。スタート直前までマスクを着用する。この時外したマスクは主催者が回収し廃棄する。
- ②競技中につばや痰を吐くことは慎む。
- ③走者規制に伴う収容バスは、定員の2分の1を上限とする。当該競技者以外の競技者の乗車は認めない。
- ④使用した①以外のマスクは自己責任で処理(原則持ち帰り)する。

4. 大会終了後

競技者は、大会後2週間（2月20日まで）は体調管理、検温を実施する。もし体調不良など医療機関に相談・受診が必要ある場合は、対策室事務局=023（622）5272=に速やかに報告する。

■大会関係者の対応

- 1.主催者は、関係者から感染予防を目的とする健康管理の個人情報を取得する際、必ず同意を取る。

- 2.大会にたずさわる関係者、その他の競技役員、自主交通整理員らは、大会 2 週間前（1 月 23 日）から体調と検温結果を体調管理チェックシートに記入し、大会当日に主催者に提出する。
- 3.感染が判明した者は、対策室事務局=023（622）5272=に速やかに報告する。
- 4.体調に異常がある場合は大会参加を辞退する。
- 5.大会参加中は常時マスクを着用し、終了後は自己責任で処理(原則持ち帰り)する。
- 6.大会車両に乗車する場合は 3 密を避け、車両の消毒を徹底するなど感染症予防対策に十分配慮する。

■観戦者の対応

本大会は無観客で実施することとし、山形新聞紙面や山形放送のテレビ・ラジオ等を通じて、応援自粛を呼びかける。

■レースの管理

1. スタート

スタート地点付近はゾーニングを行い、競技者及び大会関係者以外原則立ち入りを禁止とする。

2. フィニッシュ後

倒れこんだ競技者のケアは主催者が委嘱した医師、看護師が対応する。

■医療体制

1. 大会救護スタッフの医師、看護師がフィニッシュ地点に待機する。異変があった場合は、競技に随行している救護員が医師の指示に従って対処する。緊急時には速やかに救急車を手配する。
2. 感染発生に備えて医療用個人防護具(フェイスシールド、エプロン、手袋、マスクなど)を事前に準備する。